

13. カリキュラム（案）

* 予定は変更になる場合があります。

時間	内容	場所
第1回 8/17 (木)	開校式・オリエンテーション 前半：児童館の機能と現状 宮里児童センター所長 安次富 美和 氏 後半：学習支援ボランティアとしての心がまえ 沖縄市教育委員会 青少年センター 指導主事 高江洲 亮 氏	福祉文化プラザ (研修室)
第2回 8/24 (木)	児童・生徒の理解 沖縄市教育委員会 青少年センター 臨床心理士	沖縄市社会福祉 センター2階 (集会室)
第3回 8/31 (木)	学習が苦手な子どもへの学習支援方法 沖縄市教育委員会 青少年センター 指導主事 高江洲 亮 氏	福祉文化プラザ (研修室)
第4回 9/7 (木)	前半：児童館ツアー 沖縄市内にある児童館4施設を 見学します。 後半：修了式・ボランティア活動について 講座修了後の活動について	福祉文化プラザ (研修室)

<受講にあたって>

- ① 講義中は携帯電話のご使用はお控えいただき、マナーモードへの切り替えをお願いします。
- ② できるだけ全ての講座受講をお願いいたします。
やむを得ずお休みする場合は、事務局までご連絡をお願いします。
- ③ 講座修了後は、市内の児童館にて「学習支援ボランティア」としての活動を予定しております。興味・関心のある方は、児童館での学習支援ボランティア活動へのご参加をご検討下さい。

(実際のボランティア活動については、講座最終日に案内いたします。)

<事務局> 沖縄市社会福祉協議会 地域福祉係 (担当: 古謝、神山、平良)

電話: 937-3385 FAX: 937-3422

<島マス氏について>

沖縄市において、市民から「福祉の母」と呼び親しまれてきた故・島マス(1900~1988)は、戦後の混乱期に越来村駐在の厚生員として就任するや、いち早く女子教護施設「コザ女子ホーム」を設立し、多くの子供たちの生命と暮らしを守ってこられました。以後、生涯を社会福祉活動にそそがれ、多くの人材を育成していくなど数々の実績を残されました。